

千葉県忠霊塔再整備計画（概要）

1 事業の目的

○ 老朽化し耐震性能が不足している千葉県忠霊塔（以下、忠霊塔とする。）について、千葉県出身の戦没者慰霊のための塔及び恒久平和を祈念するシンボルとしての役割を今後も果たしていくため、忠霊塔を再整備する。

2 再整備計画地

○ 所在地 千葉市桜木霊園内（千葉市若葉区桜木）
（環境：周囲に住宅地が広がり小学校や保育所などと隣接、霊園内通路は地域住民の生活動線の一部）

3 新忠霊塔の役割・機能

○ 新忠霊塔は、現在の役割・機能に、計画地の環境を踏まえ、新たな役割・機能を付帯。

現在の役割・機能

- ① 戦没者慰霊のための塔及び恒久平和祈念のためのシンボル
- ② 墳墓（英霊名簿等遺品の埋蔵）
- ③ 千葉県忠霊塔拝礼（式典）の会場

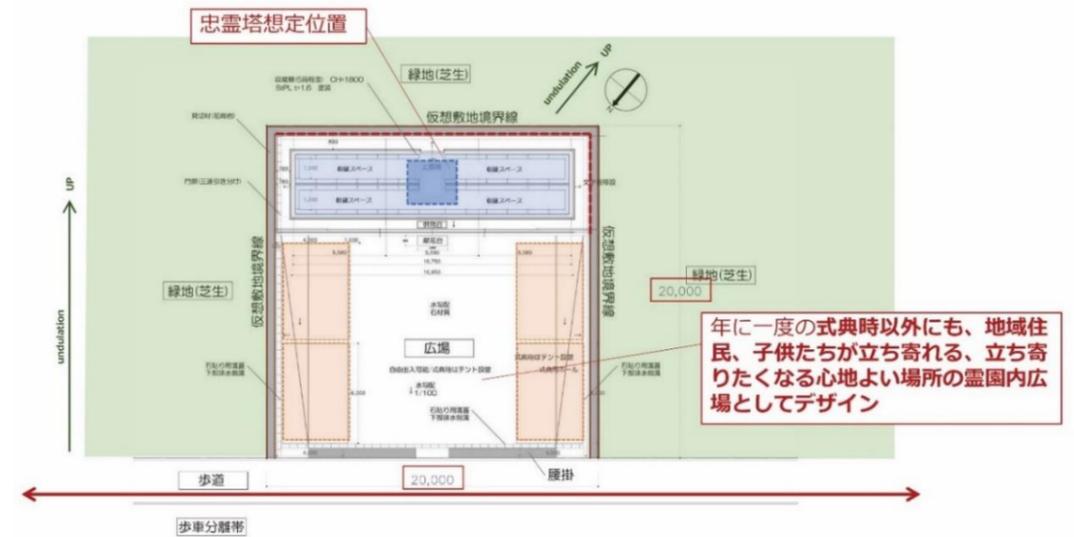
+

新たな役割・機能

- ④ 周囲の環境と調和し地域住民の日常生活に溶け込む空間

5 配置・立面計画

- 敷地面積 400㎡（20m×20m）程度
- 塔の高さ 8m程度（下部の埋蔵スペースを含む）
- 塔の配置 前の歩道から最奥部に設置



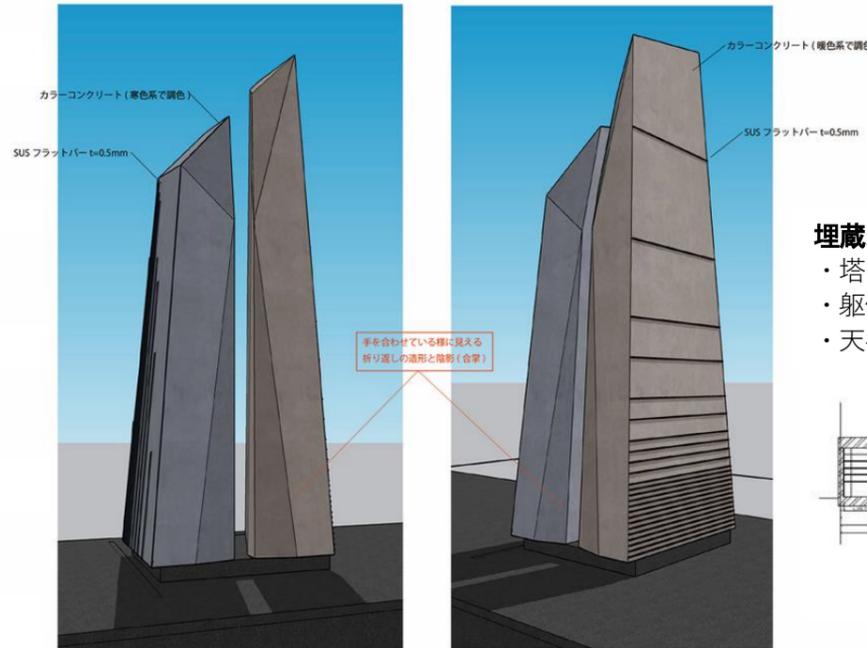
4 再整備の基本方針

○ 新忠霊塔の役割・機能を反映させるため、基本方針を下記のとおりとする。

- ① 戦没者の慰霊塔及び恒久平和祈念のシンボルとしての整備
 - ・ 戦没者の慰霊塔、恒久平和祈念のシンボルという役割・機能の継承
 - ・ 地域の子供が平和について関心を抱くような意匠
- ② 墳墓（英霊名簿等遺品の埋蔵スペース）としての整備
 - ・ 英霊名簿等遺品を効率的に配置し埋蔵スペースを確保
 - ・ 長期間保存ができるよう雨水や湿気対策などに配慮
- ③ 千葉県忠霊塔拝礼（式典）の会場としての整備
 - ・ 千葉県忠霊塔拝礼の会場として使用できる空間
- ④ 周囲の環境と調和し地域住民の日常生活に溶け込む空間としての整備
 - ・ 霊園内の慰霊碑や緑地と調和を図る
 - ・ 地域住民が日常的に歴史に触れられる広場

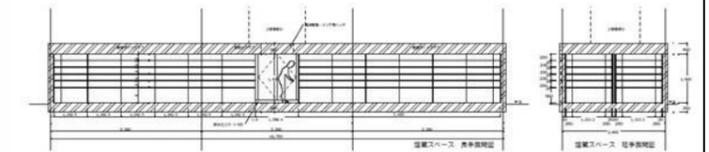
新忠霊塔の意匠

* 合掌をモチーフとした形状、自然現象に呼应し立ち現れ方が変化



埋蔵スペース

- ・ 塔の下部に配置、棚は5段程度
- ・ 躯体内寸 16,550mm×3,600mm程度
- ・ 天井の高さ 1,800mm程度



埋蔵スペース断面図

【参考】

現在の忠霊塔

- 所在地 千葉市中央区弁天3丁目（千葉公園隣接地）
- 竣工 昭和29年4月8日
- 敷地面積 1,527㎡程度
- 塔の高さ 約20m

6 事業費及び再整備スケジュール

- 事業費 約2.1億円
- 再整備スケジュール
 - 6年度 詳細設計
 - 7～8年度 本工事 ※発注予定時期：令和7年第2四半期
 - 供用開始
 - 8年度 新忠霊塔において「千葉県忠霊塔拝礼」

